

---

## 「がん患者の下肢浮腫に対する圧迫療法の選択についての後方視的研究」

### に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録の臨床情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2020年4月1日～2024年9月30日までに埼玉医科大学総合医療センター・リンパ浮腫ケア外来に受診し、下肢浮腫に対して圧迫療法を導入されたがん患者さんを対象としております。

##### 2. 研究の目的

がん患者さんの浮腫はさまざまな要因があり、乳がんや婦人科がんなどでリンパ節郭清を伴う手術後や放射線療法後に発症するリンパ浮腫のほかに、タキサン系抗がん薬などによる薬剤性浮腫、腫瘍や転移リンパ節によって血管やリンパ管の閉塞による浮腫、運動神経障害やがん性疼痛などが原因の廃用症候群による浮腫などがあります。また、がん終末期には循環不全により全身性に浮腫を認めることも少なくありません。これらの浮腫に対して、弾性包帯や弾性着衣による圧迫療法やスキンケア、運動療法、日常生活指導などの複合的理学療法を患者さんの状態に合わせて、看護師が指導を行います。圧迫療法は浮腫の改善には有効ですが、不適切に使用すると患肢に食い込んでしまい、逆に症状を悪化させることがあるため、選択には注意が必要です。圧迫療法の選択は浮腫ケアの経験豊富な看護師が患者さんの状態に合ったものを選択することが多いです。圧迫療法は医師の診察を受けた後、速やかに開始できるのが望ましいですが、当センターでは別日にリンパ浮腫ケア外来に受診し、リンパ浮腫療法士の資格を有する看護師が圧迫療法を検討・選択して開始するため、圧迫療法開始まで時間を要しています。浮腫ケアの経験が少ない看護師でも患者さんの状態に合った圧迫療法を選択できるようになることで早期に圧迫療法を導入できるほか、看護師のリンパ浮腫などに対する意識が高まるのではと考えました。しかし、治療に効果的な圧迫療法の選択や弾性着衣の着用方法についての研究報告は少なく、エビデンスも限られており、まだ多くの研究が必要とされています。そこで、リンパ浮腫ケア外来に受診したがん患者さんに対して選択した圧迫療法や臨床情報を後方視的に調査、解析することで、今後の圧迫療法の選択や指導に活用するためにこの研究を行います。

### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日まで

### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年4月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

## 研究に用いる試料・情報について

### 1. 試料・情報の内容

診療録より下記の臨床情報を収集します。

患者背景因子(年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、身長、体重、BMI、浮腫の罹患部位、タキサン系抗がん薬使用の有無、リンパ節郭清の有無、ADL、PS)

症状および所見(浮腫関連自覚症状(患肢の重だるさなど)の有無、皮膚の状態(圧痕性テスト、シュテンマーサイン、皮膚肥厚、硬化、角化の有無)、患肢周径値、リンパ浮腫病期、圧迫療法の種類(筒状包帯/弾性着衣[圧迫圧、平編み/丸編み])

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である早乙女真子が個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

### 2. 試料・情報の取得方法

リンパ浮腫ケア外来に受診し、下肢浮腫に対して圧迫療法を導入されたがん患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学総合医療センター 外来化学療法センター・看護師 早乙女真子(研究代表者)

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科美容外科 教授 大西文夫

埼玉医科大学総合医療センター 消化管一般外科外来・看護師 石田智子

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

## お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 外来化学療法センター 早乙女真子

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3599 (土日祝日を除く 8:30～17:30)

- 研究課題名：がん患者の下肢浮腫に対する圧迫療法の選択についての後方視的研究
- 研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 外来化学療法センター 早乙女真子